

保護者が知っておくべきこと

お子様がリーディングに苦労している場合はオハイオ州の3年生のリーディング力の保証について知っておいて下さい。

この保証では幼稚園から3年生までの間、新学年が始まるたびにお子様のリーディング力を把握することを学校側に求めています。お子様のリーディング力が一定のレベルに達していない場合、学校側はリーディング力の向上をサポートする計画を作成する必要があります。

保護者の方々もこの計画の作成に参加して頂く必要があります。この計画ではお子様に学年に応じたリーディング力を身に付けてもらうためにお子様に提供される支援について記述されます。リーディング力が3年生の終了時点で一定のレベルに達していない場合、次の新学年が始まる際に学校は生徒を3年生に残留させる必要があります。ただし以下の例外を除きます。

- お子様が英語を話せるように学習している場合、
- お子様が個別教育計画 (IEP) を受けており IEP によりリーディング力に問題があるために3年生を繰り返すことができないと判断された場合、
- お子様が少なくとも2年間のリーディング力における支援を受けており既に3年生を2度再履行している場合、
- またはお子様が State Reading Test (州リーディング力検定) 以外のテストで学年に応じたリーディング力を備えていると評価された場合。

お子様が上記のいずれかの場合に当てはまるかどうか疑問がある場合、担任の教師に相談して下さい。

お子様が自身のリーディング力が向上していることを示すことができる多くの機会があります。担任の教師と連絡を取り合い、現在の状況について丁寧に確認して下さい。

想定しておくべきことについては [こちら](#) をクリックするか、または education.ohio.gov にアクセスして検索ボックスに type third grade reading guarantee と入力して下さい。疑問が生じた際にいつでも参照できる3年生のリーディング力の保証を理解するための親向けのロードマップが見つかります。

